



料理を上手に作ろう

障がい者生活支援センター料理教室

障がい者生活支援センター料理教室が8月19日、保健福祉センターなごみで行われ、16人が参加しました。この教室は、心身に障がいにある方で「料理の方法がよくわからない」、「料理がうまくできない」など悩みをかかえる方を対象に地域で自立して生活していくための料理教室となっています。参加者は、冷やしラーメン、ピザ風ポテトなど4種類の料理の作り方を講師の福田春香さんから習いながら、楽しそうに料理を行っていました。

打ちたてのそばは「おいしい！」

新得蕎麦倶楽部がひまわり荘を訪問

新得蕎麦倶楽部（湯浅佳行代表）のメンバー10人が7月31日、養護老人ホームひまわり荘を訪れ、そば打ちのデモンストレーションを披露しました。利用者は、そば打ちの様子を「昔やったことがある。懐かしい」と言って見ており、利用者と職員と一緒にそば打ち体験もさせていただきました。昼食時には、打ってもらった70食分のそばが並び、利用者の中には「打ちたてのそばはうまい」とおかわりして3杯食べた方もいました。



蒸し暑い夜を怪談で涼しく

稲川淳二の怪談ナイト

ミステリーナイトツアー「稲川淳二の怪談ナイト」が8月8日、町公民館大ホールで行われ、蒸し暑い夜を涼しく過ごそうと400人を超える観客が詰め掛けました。稲川さんがステージに登場すると客席からは歓声が聞こえ、一気に会場は大盛り上がり。しかし、怪談が始まると会場は静寂に包まれ、稲川さん自身が体験した実話や友人から聞いた話を独特の口調で語り、会場は恐怖の世界へと誘われました。怪談が終わると会場はホッとした雰囲気になり、観客は十分に涼しい夜を過ごしたようでした。

3年連続の豊作で開催

狩勝高原梅園梅の実収穫ホリデー

狩勝高原梅園梅の実収穫ホリデー（無料開放）が8月6日～10日までの5日間行われ、5日間を通して231人が訪れ、全体で913kgの実が収穫されました。この無料開放は、梅が豊作の年に町民を対象として行っており、3年連続の開催となりました。初日には、開放前から30人以上が列を作っており、一番おいしそうな実を狙って収穫をしていました。



話題のアルバム

まちの出来事をピックアップ



高校生と一緒に楽しく遊ぼう

新得高校オダッシュ部が新得保育所を訪問

新得高校オダッシュ部（大久保祐希部長）の部員と木村貴昭先生が新得保育所を訪れ、園児約50人と用意してきた遊びで交流しました。今回は1年ぶりの訪問で、全部員12人中9人が参加。今回は、「キャラクター当て」、「お絵描き」、「紙芝居」など5つの遊びを行い、楽しい時間を過ごしました。高校生のお兄さん、お姉さんとの交流に園児も大はしゃぎ。一緒に絵を描いた「お絵描き」では、描いた絵を高校生に褒められると嬉しそうな笑顔を見せていました。

自慢の昆虫で「いざ！勝負！！」

第46回昆虫スポーツ大会

第46回昆虫スポーツ大会（屈足子供会社会教育協議会主催）が8月7日、屈足南小学校体育館で行われ、34人が参加しました。子供たちは自慢のクワガタやバッタなどを持ち込み、クワガタのレスリングやバッタの2メートル連続ジャンプなどの競技で、一番を目指して白熱した戦いが繰り広げられました。山之内良彰協議会会長は「近隣ではここだけがやっているような大会だと思う。昨年より参加人数が多いので、盛り上がり、夏のいい思い出を作りたい」と話していました。



地域住民ら300人が交流

第17回屈足わかふじ園きずなの郷まつり

第17回屈足わかふじ園きずなの郷まつりが9月20日、同園で行われ、地域住民ら300人が交流しました。岩佐彰 with super sessionのライブや新得中・屈足中吹奏学部の演奏、横田彩青民謡ミニコンサート、カップ麺早食い競争が行われ、同園の利用者と来場者の拍手や歓声が沸き起こっていました。縁日コーナーでは、フライドポテトやクレープなどの食べ物のほか、射的やヨーヨー釣り、にんじんの無料配布も行われ、利用者も来場者も入り混じってまつりを楽しんでいました。



そばの花で来場者を歓迎

日本そば博覧会に向けて種まき

9月19日～25日に行われる「第22回日本そば博覧会 in 十勝新得町」に向け、来場者をそばの花で歓迎しようと8月20日、町民ら15人が役場駐車場でポットとプランターに種をまきました。種まきの前には、元新得町農協参事の柴田信昭さんからそばの歴史などの講演を聞き、新得町農協営農部長の西川仁さんからそばの栽培と種まきの作業手順について説明を受けました。ポットは役場庁舎前のモニュメントに埋め込まれ、プランターは、9月23日に会場に設置される予定でしたが、そば博覧会が中止となったため、現在使用方法を検討しています。